

エソメプラゾールカプセル「DSEP」

を服用される小児患者さんご家族(保護者)の方へ

小児

このお薬は、胃酸の分泌を抑制するおくすりです。

10mg



20mg



●カプセルは実物大です。



エソメプラゾールカプセル「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前にお薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある方。
- 肝障害がある方。
- 他のお薬を使用している方（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

(裏面も必ずお読みください)

服用方法について

- 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群：通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重20kg未満では1回10mgを、体重20kg以上では症状に応じて1回10～20mgを1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。
- 逆流性食道炎：通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重20kg未満では1回10mgを、体重20kg以上では症状に応じて1回10～20mgを1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。
- 非びらん性胃食道逆流症：通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、1回10mgを1日1回経口投与する。なお、通常、4週間までの投与とする。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。

医師または薬剤師の指示なしに、自分の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

服用中に注意していただきたいこと

次のような症状がみられましたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

主な副作用として、肝機能異常、発疹、皮膚炎、そう痒症（皮膚のかゆみ）、じんましん、腹痛、下痢、嘔吐、便秘、口内炎、カンジダ症、口渇、頭痛、傾眠（ウトウトする）、めまい、味覚障害などが報告されています。

まれに次のような症状があらわれる可能性があります。このような場合は、使用をやめてすぐに医師の診療を受けてください。

- 呼吸困難、蕁麻疹、顔・くちびる・舌などがはれる【ショック、アナフィラキシー】
- 体がだるい、発熱、鼻血・皮下出血【汎血球減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少】
- 吐き気や嘔吐、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる【劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全】
- 発熱、全身倦怠感、皮膚・眼・口内に発疹ができる・赤くなる【中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群】
- 発熱、咳、息切れ【間質性肺炎】
- 発熱、発疹、関節の痛み【間質性腎炎、急性腎障害】
- 手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ、赤褐色尿【横紋筋融解症】
- 吐き気や嘔吐、けいれん、頭痛、意識障害【低ナトリウム血症】
- 意識が乱れ正常な思考ができなくなる、考えがまとまらない、幻覚【錯乱状態】
- かすんで見える（霧視）【視力障害】

上記以外にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

日常生活で注意していただきたいこと

- セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含む健康食品、健康飲料、サプリメント、ハーブティーなどは、このお薬の働きを弱める可能性があるので注意してください。

連絡先（医療機関名）



第一三共エスファ株式会社

EPES01P00301-1

2022年12月作成